

3 環境 ～地球環境から身近な生活環境までの保全・創造～

指標：失われた自然の水辺のうち回復可能な自然の水辺の中で再生した水辺の割合【H19までに約2割再生】

(1) 海辺の自然環境の保全・創造

多様な生物の生息・生育や優れた自然環境の形成など自然環境の積極的な保全や快適な海岸利用の促進及び背後地の生活環境の向上に資する海岸づくりを積極的に進める。



現況

● 完成イメージ図



エコ・コースト事業 大湊港海岸(青森県)



(コクガンと白鳥)

4 活力 ～国際競争力の強化、都市再生、地域連携や観光振興等を通じた、魅力と活力にあふれた経済社会の形成～

(1) 海辺の美しい景観や文化資源の保全・創造

海辺の史跡、景勝岩などの地域の文化資源の防護や観光振興に資する自然豊かな海岸の維持・回復により地域の活性化を図る。

美しい砂浜など景観上重要な9箇所の海岸において平成19年度までに景観阻害要因となっている消波ブロックを全て撤去する。今後、逐次対象海岸を拡大する【平成19年度までに実施】。(「美しい国づくり政策大綱」(平成15年7月策定)より抜粋、箇所数は河川局所管を含む)

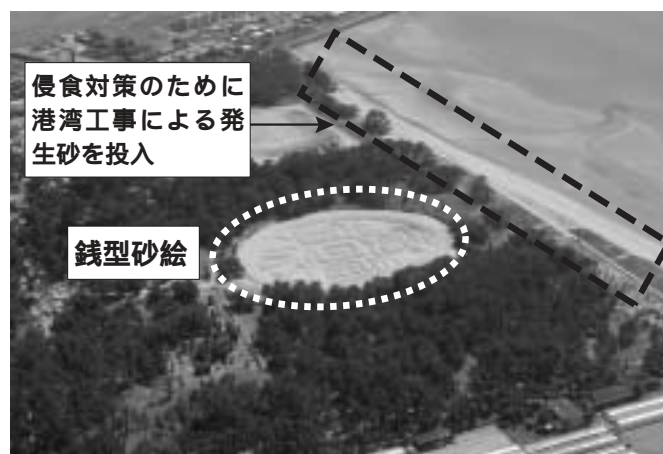


整備前



整備後

消波ブロックを撤去し砂浜を創出
熱海港海岸(静岡県)



侵食対策のために
港湾工事による発生砂を投入

銭型砂絵

有明浜 観音寺港海岸(香川県)
銭型砂絵：東西122m、南北90m、周囲345mの巨大なこの砂絵は、寛永10年(1633年)、藩主の領内巡視を歓迎するために村人によって一夜に彫り上げられたと伝えられている。